

2012 年 12 月 20 日

BMW グループがアルミニウム・スチュワードシップ・イニシアチブ に参加

➤ 持続可能なアルミニウム生産のための厳格な基準作りを BMW グループが支援

ミュンヘン発:

BMW グループは、アルミニウム・スチュワードシップ(日本語訳: 管理)・イニシアチブ(ASI)への参加を通じて、持続可能な企業としてのリーダーシップを際立たせている。この非営利の取り組みの目的は、アルミニウムのバリュー・チェーン全体にわたる持続可能な基準を作ることであり、その範囲は、責任ある企業経営から環境的および社会的基準の順守にまで及ぶ。2012 年 9 月に設立されたアルミニウム・スチュワードシップ・イニシアチブは、アルミニウムのバリュー・チェーンに対する持続可能な基準を定めるための初めての取り組みである。

BMW グループにおいては、アルミニウムがカーボンファイバーと並んで軽量構造に大きな役割を果たしている。スチールよりも 30% 軽いアルミニウムは、カーボンと同じく軽量化にも貢献している。BMW i3 には、再生アルミニウムまたは再生可能エネルギーによる電力で生産されたアルミニウムが主に用いられている。その結果、BMW i3 の生産に使われるアルミニウム全体の CO₂ 排出量は、従来のアルミニウムを使う生産工程よりも大幅に少なくなっている。

「私たちの目標は、EfficientDynamics を通じて将来のモビリティに大きく貢献し続けることです。その中で軽量構造は重要な役割を果たすと考えられます。このことから、BMW グループは持続可能なアルミニウムの基準作りに参加しているのです。私たちは、市民社会の関与を伴う業界横断的な取り組みが正しいアプローチであると固く信じています」と、BMW グループのサステイナビリティおよび環境保護部門の責任者であるウルスラ・マターは述べている。

BMW グループは、アルミニウム・スチュワードシップ・イニシアチブへの参加により、世界で最も持続可能な自動車メーカーとしての指導的役割を強化している。BMW グループは、サステイナビリティに関する多くの評価やランキングにおいて 1 位を獲得しており、ダウ・ジョーンズ・サステイナビリティ・インデックス(DJSI)では 8 年連続で自動車部門のトップに選出されている。2012 年、BMW グループは、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)が実施するグローバル 500 社ランキングにおいても自動車メーカーの中でトップとなった。さらに BMW グループは、企業の最も重要なサステイナビリティ指標の 1 つである FTSE4Goodにおいても、11 年連続で対象銘柄に選定されている。

BMW グループについて

BMW グループは、BMW、MINI、ハスクバーナ・モーターサイクル、ロールス・ロイスというプレミアム・ブランドを擁する、自動車およびモーターサイクルのトップ・メーカーの一つであり、世界 14 カ国に 29 の製造工場を有し、140 カ国以上に販売網を構築しているグローバルな企業である。

2011 年における自動車総販売台数は 167 万台、モーターサイクルは 11 万 3 千台となっている。2011 年度の売上高は 688.2 億ユーロ、税引前利益は 73.8 億ユーロを計上した。また、2011 年 12 月末時点における従業員数は約 10 万名である。

BMW グループは常に長期的な視野と責任ある行動を企業の指針として成功をおさめており、その結果、すべてのバリュー・チェーンにおける環境的および社会的持続性、責任のある製品作り、さらには資源保護に対する明確なコミットメントを企業戦略の不可分な要素として確立している。このような努力が実を結び、BMW グループはダウ・ジョーンズ・サステイナビリティ・インデックスの自動車部門において、8 年連続でトップに選定されている。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター：フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。
受付時間：9:00-20:00 年中無休
BMW インターネット・ウェブサイト：<http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8025(企業広報)